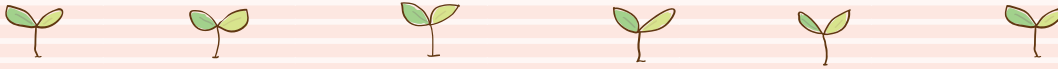




あだあじお通信



まる育サポート「あだあじお」は、丸亀市の利用者支援事業基本型、丸亀市子育て総合相談窓口です。子育て中のあらゆる相談を、子育て支援の専門家(臨床心理士・公認心理師等)を中心に幅広くサポートしていきます。個別相談をはじめ、子育て・思春期座談会、地域の子育て拠点での子育て相談会、子育て支援情報提供など実施しています。この事業に関わっている相談員の先生方にコラムをお願いし、順番にご紹介していきます。

お問い合わせ・申し込み

NPO法人 グランマール

ひまわりセンター3階

9:00～12:00 13:00～16:00

(0877) 85-8810 FAX (0877) 85-8811

e-mail adagio.npo@gmail.com

丸亀市健康福祉部子育て支援課

(0877) 24-8808

あだあじおホームページ

<https://maruiku-adagio.com/>



あだあじおのホームページを開設しています。ご覧ください。



コラム

聞いてもらう心地よさ

春は皆さんにとってどんな季節ですか?入学進級などで子どもは取り巻く環境が大きく変わる季節です。新たな人との出会いは、あいさつ程度の会話から「どんな風に私を見て感じているのだろう?」という思いを抱いたり、新しい環境の下で誰かに教えてもらったりすることが多くあることでしょう。春は話を《聞く/聞いてもらう》機会が増える季節のように思います。

先日、80歳の実母と電話をしている時に「ちょっと話を聞きたい!」とピシャリと強い口調で言われました。私が質問したことに対して、長々と話す実母の話に、耐えきれなくなり「ほんで〇〇はどうなったん?」と話を中断するように言った瞬間に言われた言葉です。早く自分の欲しい答えを私が求めたために、実母はちゃんと話を聞いてもらえていないと感じたのでしょうか。この時「なんで怒られないかんの?」と逆切れしそうになりました。心の中で「まあまあ聞きよるがな。」と自分に優しい言葉かけをして電話の声を聞き続けることができました。

臨床心理士の東畑開人は著書の中で、聴くよりも聞くの方が難しく「ちゃんと聞いて!」という訴えには、言っていることを真に受けて欲しいという思いがあるのではないかと述べています。まさに実母の「ちゃんと聞きたい!」は言葉を聞くことを求めているのです。話の内容によっては、耳と目と心でしっかり《聴く》ことは大切ですが、心がクタクタにならない程度のほどよさが必要です。また、《聞く/聞いてもらう》ことは、日常生活でふつうにしている営みですが、意外に難しいのです。

幼児期の子ども話す言葉は、短い言葉の中に思いがあふれています。笑顔で「イヤ」という場合や泣きながら「イヤ」という場合の「イヤ」をたびたび聞かされると「じゃどうしたらいいの!」と困惑することがあるでしょう。そして小学生になると、学校であった楽しい/おもしろい話もしてくれますが、「嫌なことがあって…」と話した時にはしっかり聴くことが必要です。大人はどんな思いで話を聞けばいいのでしょうか?しっかり話を聴いていると、状況がわからないことがたくさん出てきたり、心配が増えたりしてきます。そして年齢が上がるにつれて、「自分の思いをちゃんと聞いて欲しいけど、誰にも言えない。」という気持ち子が子どもに芽生えはじめ、大人はさらに聞くことの難しさを体感するのではないのでしょうか?

上手に《聞く/聞いてもらう》ことができている時は、お互いの関係もうまくいっている状態といえます。聞いてもらうことの心地よさを知った人は、相手の話を聞く心地よさも感じることでしょう。特に子どもは、上手に聞いてもらうと話すことへの安心感をもちます。

春の柔らかな陽ざしのように、ほんわか温かい眼差しと心のゆとりがあれば、相手の話を上手に聞いているのではないのでしょうか。大人が心のゆとりをもって子どもの話を聞くために、誰かに話を聞いてもらう時間をつくってみてください。今年の春は、新しい出会いの中でどんな話が聞けるか楽しみな季節になれば…と願っています。

(引用文献:聞く技術 聞いてもらう技術 東畑開人著 ちくま新書2022)

臨床心理士
公認心理師

樽本 美穂
たるもと みほ





丸亀市子育て支援 総合相談窓口

まる育サポート

～利用者支援事業母子保健型・基本型～



母子保健型
**ハッピー
サポート丸亀**
(健康課)



基本型
あだあじお
(NPO法人 グランマール)

子育ては、喜びとともに、不安や悩みが伴います。
戸惑うことも多かったり、思ったように進まなかったり、真剣だからこそ悩んだり落ち込んだりします。
子育ての協力隊をつくりながら、自分自身や子ども、それぞれの家庭にあった子育てをしていくことは大切です。
困ったとき・相談したいけどもう少し様子をみようかと迷う時にも、**まる育サポート「あだあじお」**にご連絡ください。
安心して話ができる場を設けます。
あなたの悩みに寄り添い、相談や適切な機関と繋ぐ手助けや、子育てサービスなどの情報提供をします。

事業

～ 専門相談員が週4日 半日常駐しています ～

個別相談

来所相談・Zoom相談・電話相談を行っています。専門相談員が相談をお受けします。

予約制・相談時間50分

*Zoomアプリの取り方、Zoom相談の手順はホームページに掲載しています。

出張相談

専門相談員が子育て支援センターや子育てひろば等へ出張して相談を受けます。

あだあじお 子育て座談会

妊娠中～乳幼児、小学生の保護者対象。専門相談員がコーディネーターとなって、少人数グループで行います。

メール相談

あだあじおホームページメールフォームからお送り下さい。

あだあじお 思春期座談会

小学校高学年以降の子どもの保護者対象。専門相談員がコーディネーターとなって、少人数グループで行います。

思春期相談日

非行等、思春期の相談に対応します。

入園・入学相談会

入園や入学に際しての不安や心配に対応します。

保育・教育相談日

月1～2回(半日)、元保育士・元小学校教員が対応します。

※他の方の相談が入っているため待っていただくいたり、ゆっくりお話していただく場所がない状況も考えられますので、まずお電話にてご連絡ください。

保育・教育 相談日

5/26金、6/23金、7/28金 13:00～16:00

特別支援教育・LDの学習支援に詳しい元教員の先生が対応します。

7/13木 13:00～16:00

保育所長の経験がある先生が対応します。

※まずはお電話
ください。



思春期相談日

6/7水 13:00～16:00

香川県NPO基金、丸亀市民活動ステップアップ補助事業、NPO法人グランマール出資にて、所属の専門相談員15名が執筆し、「子育てを支える専門家から子どもを育てているみなさんへ」を作成しました。



こちらから
ダウンロード
できます。



地域連携

- ・子育て支援センター等へ出張し、子育ての話をしたり、座談会、個別相談等を行います。
- ・地域子育て支援拠点事業等への講習を行っています。

情報提供・啓発

- ・相談時の情報提供
- ・あだあじお通信の発行
- ・あだあじおホームページ



丸亀市子育て支援情報パンフレットの発行

- ・Vol.1 妊娠・出産
- ・Vol.2 相談
- ・Vol.3 ひとり親支援・手伝ってほしい時
- ・Vol.4 障がい児支援
- ・Vol.5 子どもを預かってほしい
- ・Vol.6 お出かけしよう
- ・Vol.7 幼稚園・保育所・こども園 入園・入所の方へ
- ・Vol.8 小学校・中学校 入学・在学の方へ
- ・Vol.9 離学者・家族支援



あだあじおホームページからダウンロードできます。
市役所2階・3階、ひまわりセンター1階・2階に設置しています。

インフルエンザ・コロナウィルス等感染予防対策を行っています。

- ※保護者の方やお子さん、ご家族に、発熱・咳などの症状がある時。
- ※お子さんが通う園、学校、ご家族の職場等が閉鎖・待機になっている時。
- ※インフルエンザについては、発症した後5日を経過、かつ解熱(37度以下)した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで。(学校保健安全法施行規則第19条より)
- ※コロナウィルスについては、発症の翌日から5日間を経過、かつ症状が軽くなってから1日経過するまで。(文部科学省の省令改正より)

来所相談を希望されている方で上記にあてはまる場合は、来所をお控えください。

Zoom相談や電話相談に切り替えることもできます。

キャンセルされる場合は、新たに予約をお取りします。ご連絡ください。

- ※密にならないように保護者以外のご家族(祖父母・きょうだい等)の来所はなるべくご遠慮下さい。
- ※換気のため窓を開けています。服装等で調整をお願いします。
- ※来所時に体温測定と健康チェックをお願いします。
- ※手指の消毒をお願いします。

